

## 滋賀県の脱炭素・カーボンニュートラル推進に向けて、 滋賀銀行とバイウィルがビジネスマッチング契約を締結

カーボンクレジットをはじめとする「環境価値」の創出・流通を促進し、  
「地産地消」によって、滋賀県内での環境価値と経済価値の循環を目指す

日本全国 47 都道府県のカーボンニュートラル実現を目指す株式会社バイウィル(本社:東京  
都中央区、代表取締役 CEO:下村 雄一郎、以下「バイウィル」)は、株式会社滋賀銀行(本店:滋  
賀県大津市、取締役頭取:久保田 真也、以下「滋賀銀行」)とのビジネスマッチング(顧客紹介)  
契約を締結しました。

これを基に、滋賀県内での環境価値の創出・流通を促進し、滋賀県の脱炭素・カーボンニュート  
ラルおよびサーキュラーエコノミーの実現に向けた連携を強化いたします。



滋賀銀行



BYWILL

### 【締結日】

2023年9月27日(水)

### 【契約締結の背景】

日本が目標とする 2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、プライム上場企業をはじめ  
とする多くの事業者が、自社のカーボンニュートラルを目指して脱炭素活動を進めています。  
その目標達成におけるひとつの手段が、「環境価値」を取引できる形にしたカーボンクレジット  
や非化石証書などを活用し、自社では削減しきれない温室効果ガス排出量を埋め合わせる「カ  
ーボン・オフセット」です。

ですが、環境価値の流通は、高い需要に反して大幅に不足しており、カーボンニュートラルの実  
現に向けては環境価値の創出が急がれます。

一例として、日本で認証を受けたカーボンクレジットである「J-クレジット」は、政府の地球温暖  
化対策計画において、2030 年の目標認証量を 1500 万 t-CO<sub>2</sub> と定められています(\*1)。  
これは、2022 年度の認証量が 889 万 t-CO<sub>2</sub>(\*2)であることに鑑みると、今後さらなる環

環境価値創出への取り組みが求められることを意味します。

そこで、バイウィルは各地域において環境価値の創出および流通を支援し、環境価値と経済価値の循環を促進することにより、日本全国 47 都道府県のカーボンニュートラル実現を目指しています。

今回の契約締結により、滋賀銀行の地域ネットワークと、バイウィルが持つ環境価値に関する各種サービスを結集させることで、滋賀県におけるカーボンニュートラルの実現を目指します。

(\*1) 経済産業省『J-クレジット制度の概要と最新動向』

([https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/recycle/oshirase/220304\\_1\\_3.pdf](https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/recycle/oshirase/220304_1_3.pdf))

(\*2) J-クレジット制度事務局『J-クレジット制度について(データ集)』

([https://japancredit.go.jp/data/pdf/credit\\_002.pdf](https://japancredit.go.jp/data/pdf/credit_002.pdf))

### 【締結内容】

バイウィルでは、脱炭素・カーボンニュートラルの推進に向け、環境価値に関する下記サービスを提供しています。

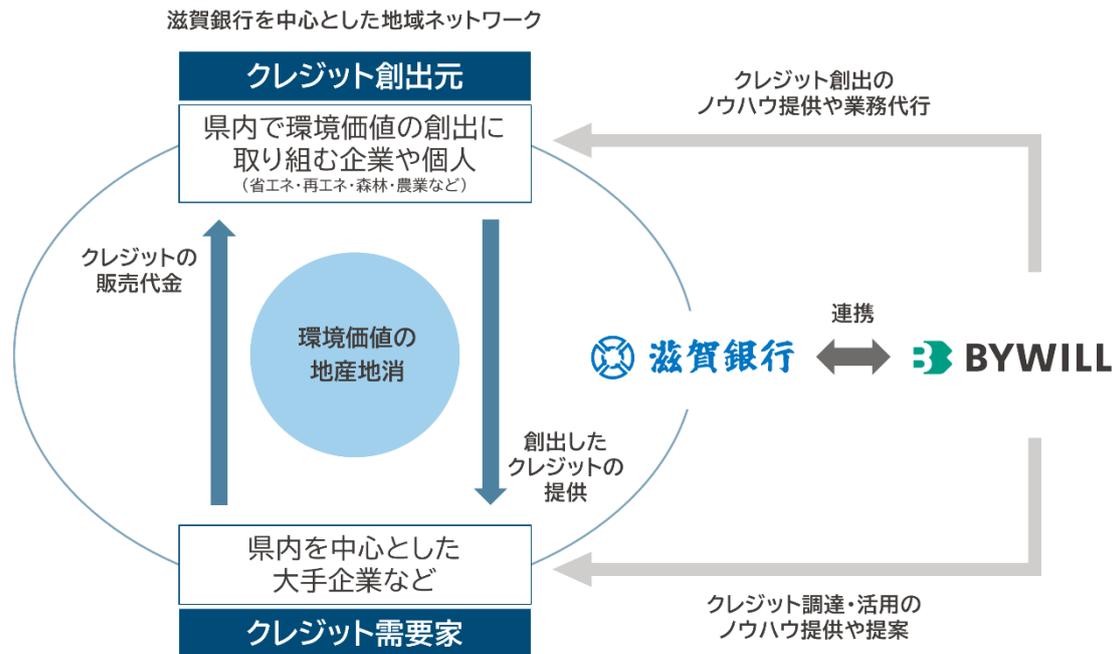
#### (1) 創出サービス業務

対象顧客が環境価値を創出し、売却可能な状態にするまでに必要な一切の手続きを代行・支援するサービス

#### (2) 売買サービス業務

環境価値の売買を支援するサービス

滋賀銀行は、上記(1)(2)に関するニーズを有する同行の取引先を、バイウィルに紹介する役割を担います。バイウィルは滋賀銀行と連携し、滋賀県における環境価値と経済価値の循環を目指します。



### 【株式会社バイウィル 代表取締役 CEO 下村 雄一郎 コメント】

滋賀県の金融機関を代表する滋賀銀行様に、弊社をお選びいただきましたこと、大変嬉しく思っております。

滋賀県は、「湖国」とも呼ばれる、日本最大の湖・琵琶湖を有する県であり、古くから自然環境を大事にされている地であります。また、第二次産業においてもその存在は大きく、県内総生産に占める製品出荷額の割合が日本一、そして、プラスチック製品・コンベア・工業窑炉などさまざまな製品で、出荷額が日本一を誇ります。



そんな滋賀県では脱炭素、カーボンニュートラルへの取り組みが必至と認識しております。滋賀銀行様はその中でも先導的役割を果たさんとされています。

弊社は滋賀銀行様とともに、滋賀県のカーボンニュートラル実現に向けて、貢献してまいります。

### 【バイウィルが取り組むカーボンニュートラル推進支援】

バイウィルでは、以下4つのご支援を通じて、日本のカーボンニュートラル推進を目指しています。

#### 1. 環境価値創出支援(クレジット創出)

カーボンニュートラル達成のため、各企業は脱炭素アクションの加速を求められています。バイウィルは企業の脱炭素に向けた取り組みを「クレジット化」する手続きを一貫して請け負うこと

で、創出元の「不」を解消し、脱炭素への更なる取り組みを後押ししています。

## 2. 環境価値提供(クレジット売買)

時代と社会から求められる高次元な CO2 削減目標の達成を、国内・海外を問わない幅広いクレジット売買によってワンストップでご支援しています。

## 3. GXL(GX-Learning)

GX の基礎知識から事例を踏まえた応用編まで、1 日 5 分から無理なく学習を進められる e-ラーニングシステムをご提供。体系的・網羅的に学べる約 150 のコンテンツを揃え、GX 推進の“土台創り”をご支援します。

## 4. ブランドコンサルティング

企業価値を高め、社内外から長く愛されるブランドを確立するための「サステナビリティ・ブランディング」を推進。パーパスの策定や、GX に関する取り組みの PR など、ブランド戦略・インターブランディング・アウトブランディングを一気通貫でご支援しています。

サービス詳細についてはこちら

<https://www.bywill.co.jp/services/gx>

### 【会社概要】

■社名:株式会社バイウィル

■本社:東京都中央区日本橋 2-3-21 群馬ビル 6 階

■公式サイト:<https://www.bywill.co.jp/>

■代表者:

・代表取締役 CEO 下村 雄一郎

・代表取締役 COO 伊佐 陽介

■設立:2013 年 11 月 11 日

※2023 年 4 月 1 日より、株式会社フォワードから株式会社バイウィルに社名変更

■事業内容:

・環境価値創出支援事業

・環境価値提供事業

・ラーニング事業

・ブランドコンサルティング事業

### 【パーパス】

『ずっと愛される日本を。意志の力で。』

常に変わりつづける世界の中、価値は多様化し、正しさも不確実なこの時代。

だからこそ、バイウィルは意志の力を信じ、あらゆるサステナブルな変革を後押しすることで、次世代にも誇れる日本を創ることに貢献します。

**【本リリースに関するお問い合わせ先】**

株式会社バイウィル 広報担当

e-mail:[info@bywill.co.jp](mailto:info@bywill.co.jp)

TEL:03-6262-3584(代表)